

## 草津白根山の火山活動解説資料(平成20年9月)

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

湯釜火口およびその周辺の熱活動や火山性地震の発生状況など観測データに特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

平成19年12月1日に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況(図2～図7)

2日及び24日に、湯釜火口内北東部の新噴気孔周辺の現地調査を行いました。湯釜火口内北東部の新噴気孔周辺の高温領域の拡大は認められませんでした。

逢ノ峰(湯釜の南約1km)に設置してある遠望カメラでは、湯釜火口縁を超える噴気は観測されませんでした。

#### ・地震や微動の発生状況(図8、図9)

山体を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況(図9)

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

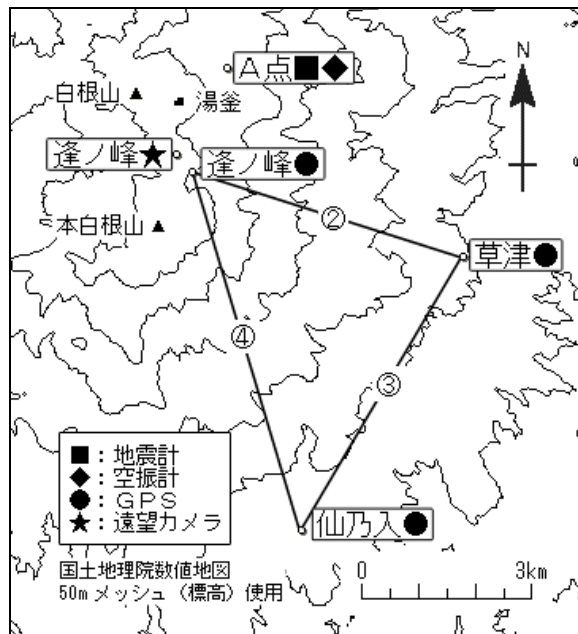


図1 草津白根山 気象庁の観測点配置図  
(小さな白丸は観測点位置を示しています)  
GPS基線 ~ は図6の ~ に対応しています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成20年10月分)は平成20年11月7日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、東京工業大学のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』『数値地図25000(地図画像)』を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

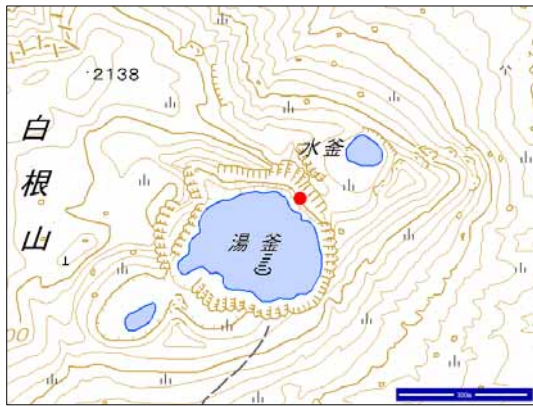


図2 湯釜火口内北東部新噴気孔の位置(赤丸)



図3 湯釜火口内北東部新噴気孔の状況(白丸内)  
従来の新噴気孔の他に、北東側約1mと、  
北西側約3m地点に新噴気孔が認められた。

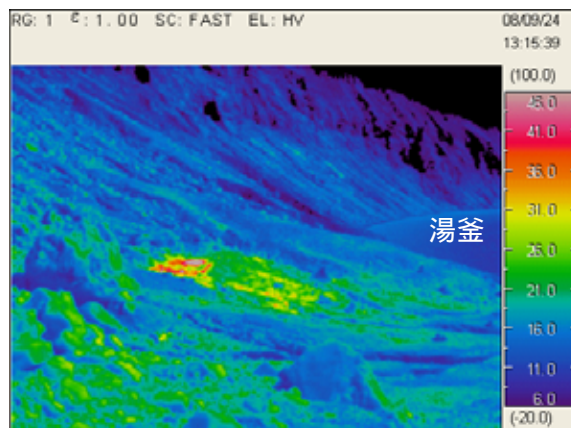
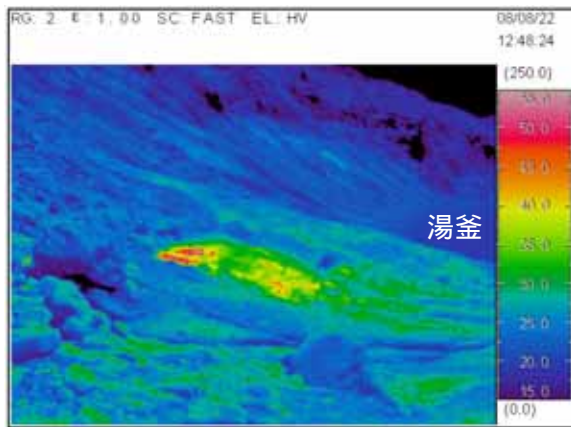
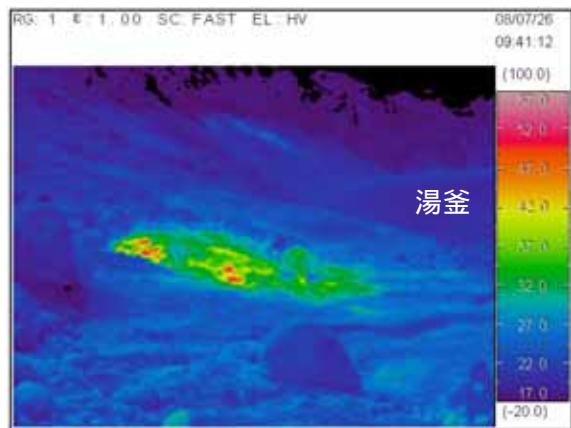


図4 草津白根山 赤外熱映像装置で撮影した湯釜火口内北東部の表面温度分布(北西30mより撮影)  
撮影場所は、図5を参照

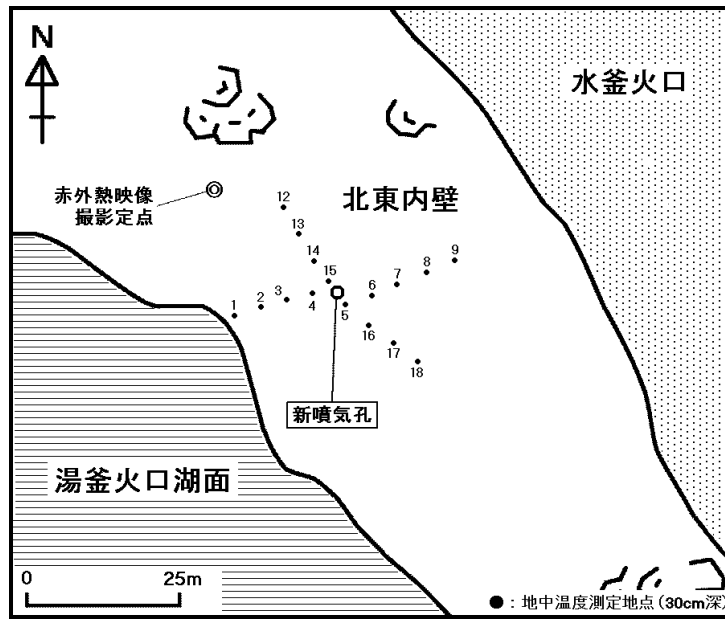


図5 草津白根山 湯釜火口内北東部 観測点配置図

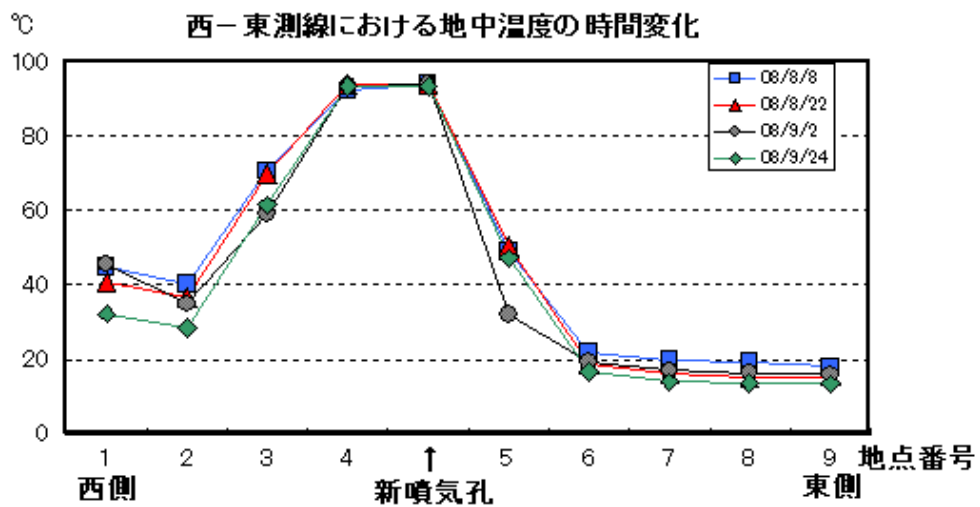
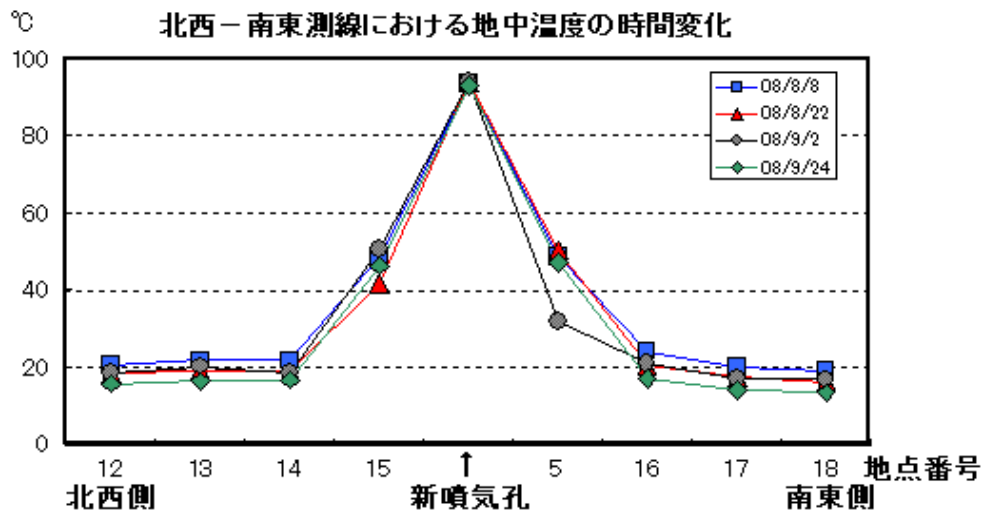


図6 草津白根山 湯釜火口内北東部における地中温度の時間変化



図 7 草津白根山 湯釜付近の状況（9月24日、逢ノ峰遠望カメラによる）

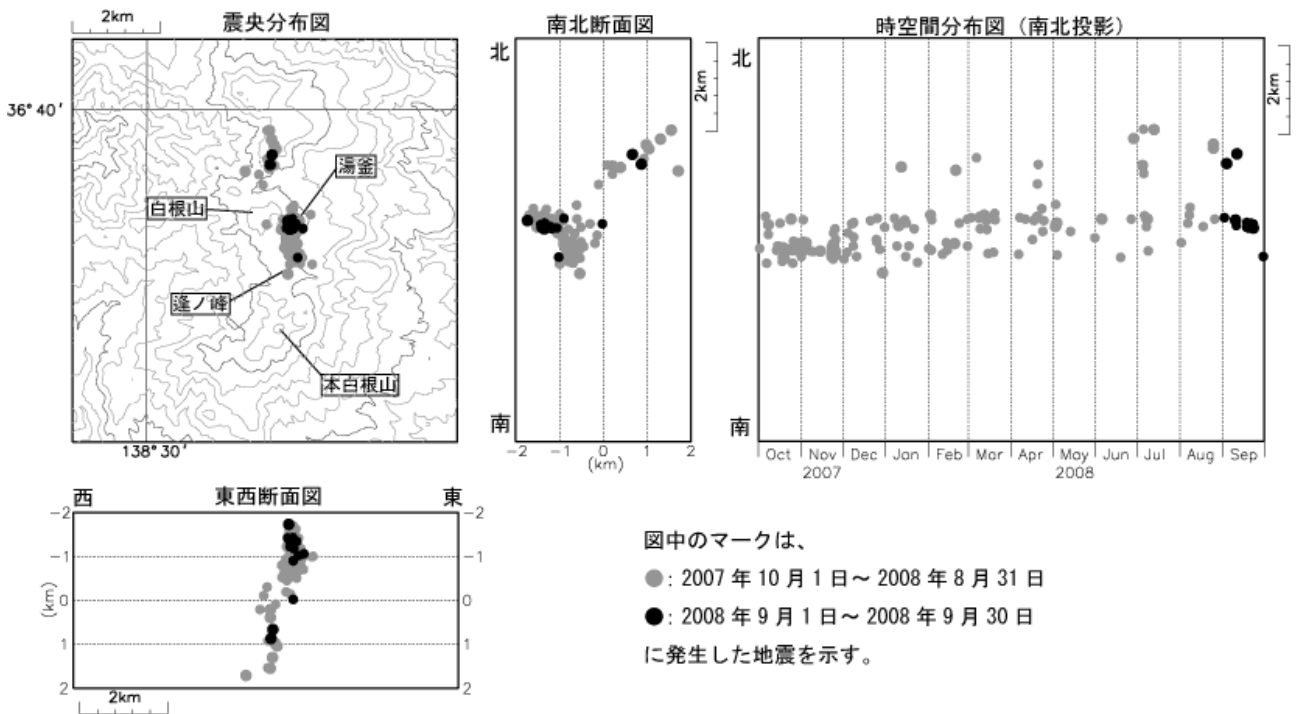


図 8 草津白根山 震源分布図（2007年10月1日～2008年9月30日）

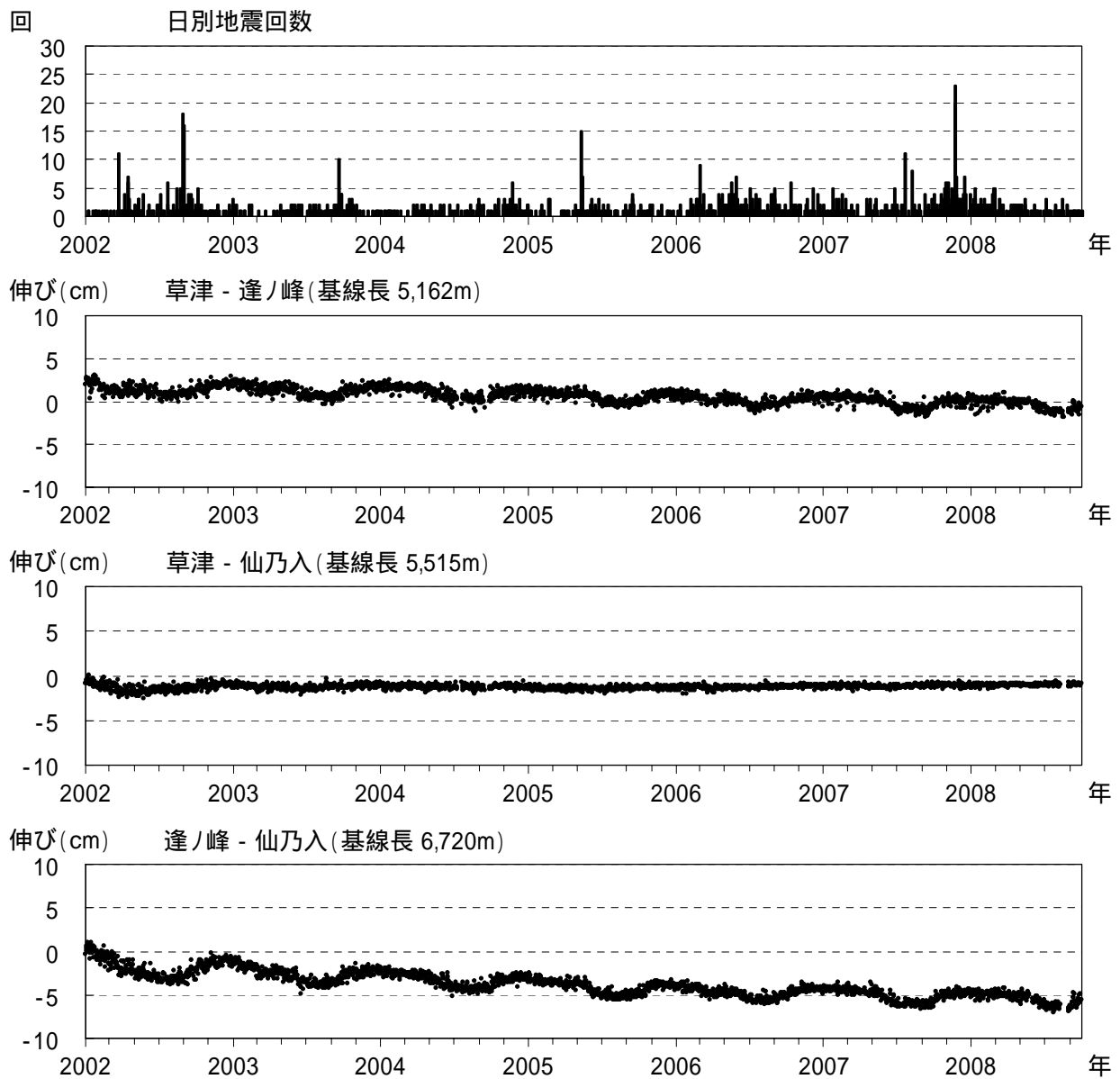


図9 草津白根山 最近の火山活動の推移(2002年1月~2008年9月)  
 山体付近に発生した地震の日報回数  
 ~ GPS連続観測による基線長変化  
 基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。  
 ~ は図1のGPS基線 ~ に対応しています。